

平成27年度 第1回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 平成27年7月10日（金）午後3時00分から

場所 にぎわい交流館2階 会議室B

出席委員 白石淑江（委員長）、福岡克二、友松守彦、齋藤謙次、波多野絹江、齋藤由美、後藤千鶴、
田口哲

欠席委員 坂鏡子、加藤義彦、近藤茂之

事務局 梅村部長、萩野次長、小出課長補佐、鳥居係長

傍聴可否 可

傍聴有無 無

<次第>

1 開会あいさつ

事務局自己紹介

2 委員長あいさつ

3 議題

（1）日進市次世代育成支援計画後期計画の完了報告について

（2）子ども・子育て支援事業計画の評価方法について

（3）子ども会議のあり方について

4 その他

<議事録要旨>

1 開会あいさつ

【こども福祉部長】（あいさつ）

（事務局自己紹介）

2 委員長あいさつ

【委員長】（あいさつ）

3 議題

【委員長】議題（1）「日進市次世代育成支援計画後期計画の完了報告について」事務局説明をお願いします。

【事務局】（資料1の説明）

【委員長】達成率が100%を超えているものが数多くありますが、未達成のものも引き続き取り組むべきものもあると考えます。

例えば、施策番号24番（子育て支援センター相談業務）や26番（おじゃまん保育）などは達成率100%を超えています。目標設定が低いのでしょうか、ニーズが高いのでしょうか。

【事務局】ニーズが増えてきています。支援センターの数も3ヶ所に増えており、より多くのニーズを拾うことで、目標をはるかに超える数になったと考えています。

【委員長】施策番号38番（幼稚園就園奨励費制度）について、子ども・子育て支援新制度の施設給付

型を受ける幼稚園は幼稚園就園奨励費をもらえますか。

【事務局】もらえません。また、制度としては幼稚園の選択制となっており、市内は全て現行どおりのままで実施しております。

【委員長】幼稚園が選んでいるということですか。

【事務局】そうです。

【委員長】施策番号54番（休日・夜間保育）について、利用としては休日が多いのでしょうか。

【事務局】利用数はそれほど多くない状況です。なお、受入は認可外保育園で実施しています。

【委員長】他にご質問、ご意見はいかがでしょうか。その他はよろしいでしょうか、では以上で日進市次世代育成支援計画後期計画の完了報告について、ご承認いただけますでしょうか、

【委員】全員承認。

【委員長】ご承認いただけたということで、ありがとうございました。

続きまして、議題（2）「子ども・子育て支援事業計画の評価方法について」事務局説明をお願いします。

【事務局】（資料2の説明）

【委員長】ありがとうございました。先ほどの議題1にありましたように、次世代育成支援計画の進捗状況は項目数がとても多くありました。それを、22個の個別目標に絞り、数字だけではなく行政の評価と、子ども施策推進委員会の意見を盛り込んでいく形に変えていくものです。

【事務局】流れについて、本日お渡しした資料をご覧ください。予算や関係機関との関係で、年度の途中で変更が可能なものと、そうでないものがありますが、なるべくいただいた意見を反映させて、フィードバックしていくものです。

【委員長】事業の詳細については、その都度確認するの必要はありますが、この評価シート（案）では事業全体が見られるようになります。他にご質問、ご意見はいかがでしょうか。では以上で子ども・子育て支援事業計画の評価方法について、ご承認いただけますでしょうか。

【委員】全員承認。

【委員長】ご承認いただけたということで、ありがとうございました。

続きまして、議題（3）「子ども会議のあり方について」事務局説明をお願いします。

【事務局】（資料3の説明）

【委員長】ありがとうございました。現状を振り返り、今後の方向性を検討していくということですが、今のご説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【委員】学校の現場にいた者の感覚として、教員も子どももニーズを実感できないと推察します。例えば、生徒会に働きかけたとしても、形骸化するだけであり、行政として自主的な参加が必要であるというスタンスなら、まずは学校の教員に充分説明していく必要があると思います。

【委員】先日、子どもたちが安全マップを作って発表する機会がありましたが、そこでは子どもたちがとても生き活きと発表していました。今、自分たちがやれること、やりたいということがあると、一生懸命活動してくれると思います。子どもたちは、自分たちの住むまちのことが良くわかったと言っていました。先ほどの説明で、参加が無いというのは、本当に子どもたちの興味が無いのだと思います。

【委員長】今のお話を聞くと、企画内容と実施する側との連携がしっかりできていたように感じます。しかも、子どもたちが能動的に取り組んでいたということで、そういう企画が1つでもあると良いですね。自分たちの住む環境が、自分たちの力を発揮できるということで、どんな内容でも構

わないと思います。環境のテーマではどうですか。

【事務局】子どもたちが活動するクラブがあります。また、わかりやすいテーマで実際に取り組んでいる事例もあります。それぞれの事業担当者が、子ども主体で取り組むという意識にしていけるためにも、ガイドラインを作っていきたいと思います。大人と同じように、子どもの意見を聞きながら進めていくことが当たり前になるようにしていきたいと思います。

【委員】子ども会議の場に出てくる人が、どういう認識を持って出てくるかがカギだと思います。まずは教員に、その後子どもに周知していき、子どもの権利をよく考えていくということで送り出されるようになればと思います。

【委員】先ほどの安全マップの件について、作成の段階で関わりました。各学校により参加の仕方が全く違います。子ども主体で何かを作るときは、子どもと一緒に活動する大人が意識を持っていないと動きません。安全マップ作りの際、いろいろな大人が子どもたちに指示する場面がしばしばありました。出来上がりがきれいであればあるほど、大人にやらされている感じがしました。

大事なのは、子どもたちが1つ1つ成し遂げた実感であり、子どもが作ったものに大人の尺度でものを言わずに、大人が見守ってほしい。学校等に動員をかけるのはどうなのか、と思います。きっかけが何であれ、達成感を得た子どもたちが、次に自分たちで取り組んでいくというステップが大切です。

じえねふろについては、周りの大人がもっと動いてほしいという気持ちがありました。大人がもっと考えるということがあれば、1歩でも2歩でも進むことになります。

【委員】何かしらの土台が無いと、子どもたちだけでは難しいので、そこまでは大人の手があった方がよいと思います。小学生でも習い事をやっており、時間は取りにくい状況ですが、子どもたち本人が楽しければ、自ら時間を作っていきます。

【委員】子どもたちには相当説明しないとわかりません。子ども中心にしてどのような結果になるのか、満足する結果になるのかわかりませんが、子どもたちが考えることが大事であるということが目的であれば、こうした活動も悪いことではありません。大人が見て満足する状況にはならないでしょうが、子どもたちが考え、1つでも進んでいけばよいと思います。

【委員】子どもたちが発想したことの方が大人よりも低いわけではなく、大人が気づかないようなことがあります。何かをやろうとしたとき、子どもの力を引き出すことが、まちづくりにおいて良い結果が出てきます。

しゃべり場等を続けてきましたが、何も実現しないということで終わってしまいます。子どもたちが発言したことが実現する、例えば公園の遊具に関して、提案したことが実現し設置されるというゴールが必要です。こうした積み重ねが必要であり、何かしらの結果に結びつくようなことを実施していくことが大切です。そうでなければ、大人に使われるだけになってしまいます。

若い感性で意見を出してほしいという、周囲の大人の考え方が必要です。

【委員長】時代的には、子どもの意見を聞いて施策に反映させていく方向にあると思います。

【委員】子ども会議というものがあるのはすごいことだが、上手く活用できていない。子ども主体という話もあったが、自分たちがどういうまちにしたいかという未来志向で話すことができる子どもたちに、こうした会議で話をしてもらえると、非常に良い会議だと思います。

【委員長】理想はありますが、そこに進むには時間がかかるため、ステップを踏んでいくこととなります。最初のステップで、子どもの参画の方向性を目指して、企画を考えるにあたってのガイドライン作成から取り組んでいくこととし、具体性を持って次のステップを考えていきたいと思いま

す。事務局には、こういったものが考えられるか、示していただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【事務局】さまざまなご意見をいただきましたので、たたき台を作っていきたいと思います。

【委員長】以上を持ちまして議題は終わります。

4. その他

【委員長】事務局、その他はありますか。

【事務局】現在、委員の任期は平成28年1月15日までです。次期委員には子ども・子育て支援事業計画の中間見直しまで担っていただくため、作業の途中で委員が変更となることは避けたいと考えています。そこで、平成28年2月、3月に新たな手続きを行った上で、平成28年4月1日からの任期とし、年度単位としたいと思います。

【委員長】ただいまの件について、委員の任期を2ヶ月延長するというご承認いただけますでしょうか。

【委員】全員承認。

【委員長】ご承認いただけたということで、ありがとうございました。

【事務局】また、放課後健全育成事業について、実施事業所の数を増やしていく方針ですが、今年度新たに事業開始届を市に提出した事業所のチラシについて、情報提供ということで本日お渡ししますので、よろしくをお願いします。

【委員】1件よろしいでしょうか。先日、放課後子ども教室の実施により、一般の子どもは放課後のグラウンド利用を禁止するとの書面が地区で回覧されました。放課後子ども教室の送迎車両があり、危ないからとのことでしたが、そういうものなのでしょうか。

【事務局】基本的には学校側の判断と思いますが、何か事故があったとは聞いておりません。また、他にこういった話もありません。ただ、他の小学校でも、送迎の車と児童との動線を心配する声はあります。いずれにせよ、初めてお聞きした話なので一度調べてみます。

【委員長】以上を持ちまして閉会します。

(閉会) 午後4時30分

*次回開催日時 12月17日(木) 午後3時から午後4時30分(予定)